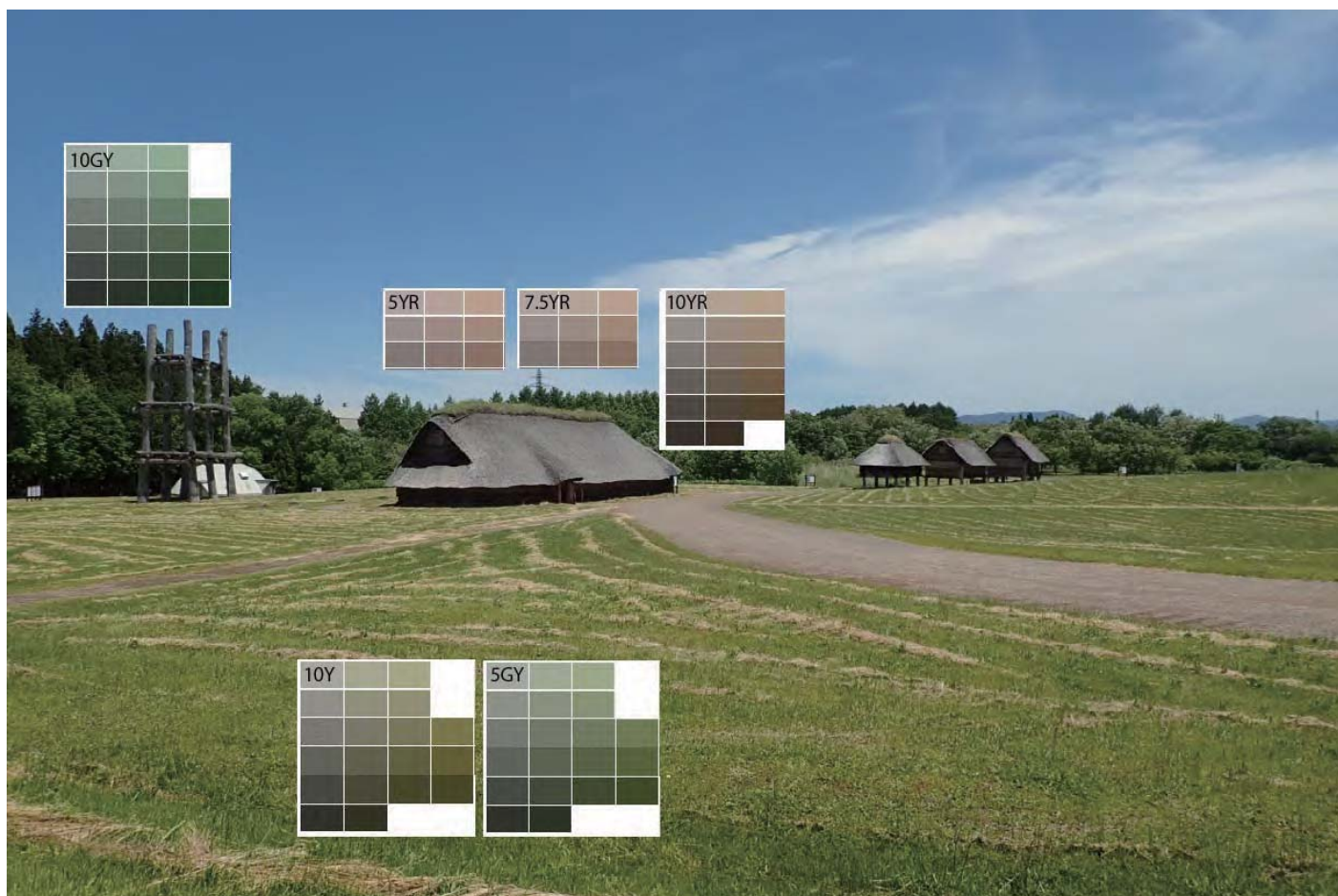
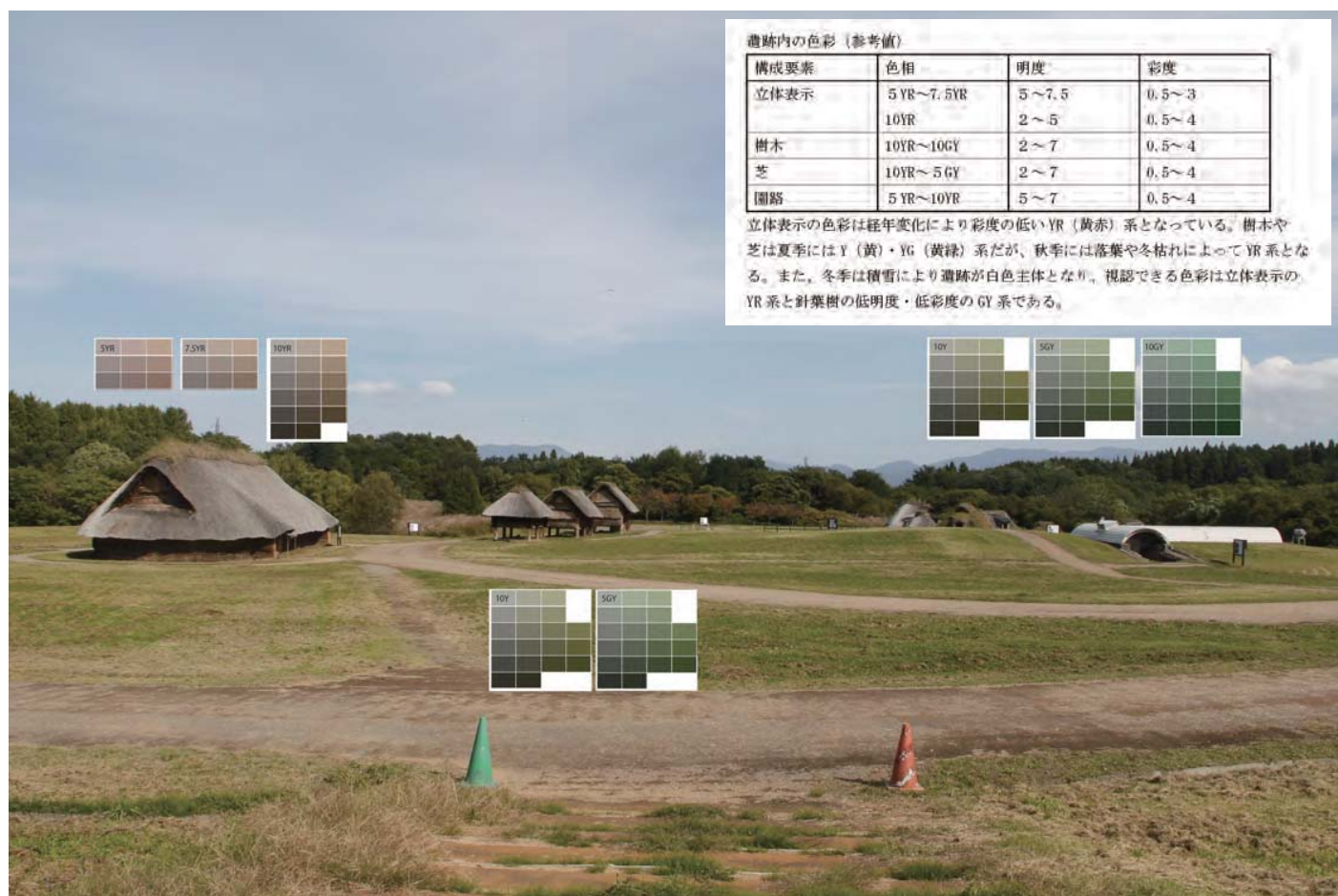


覆屋のデザインにおける基本的な考え方

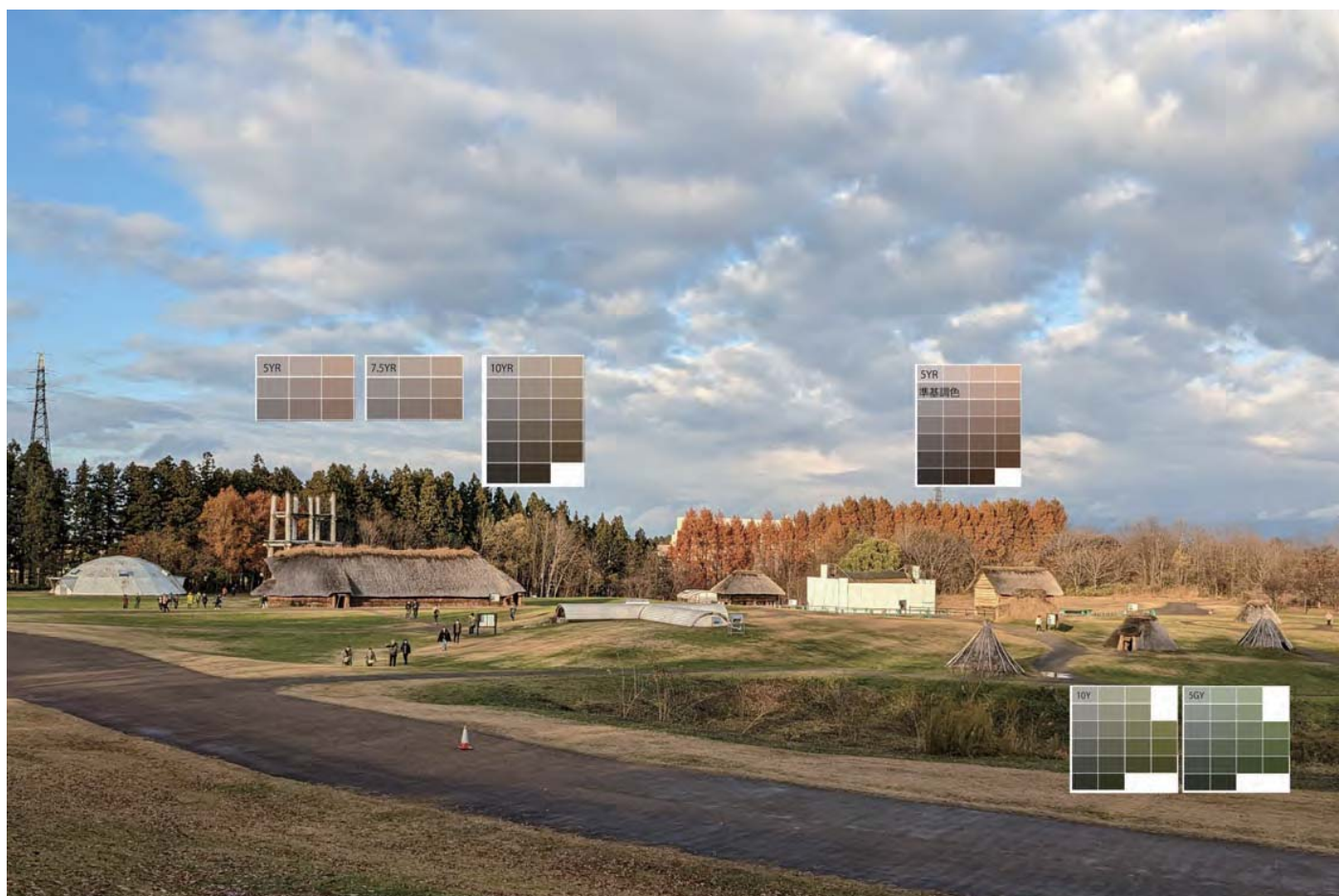
項目	基本方針	留意事項
共通事項	<ul style="list-style-type: none"> ・遺構の保全及び観覧者の安全性・利便性が向上する規模及び形態意匠とする。 ・建物同士の調和に配慮し、統一感を感じられるものとする。 	
平面規模	<ul style="list-style-type: none"> ・遺構の保全及び維持管理、観覧のために必要な規模とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現況の覆屋の平面規模を超えないことを基本とする。
建物高	<ul style="list-style-type: none"> ・視点場や遺跡内の主要な観覧動線から眺望した際に立体表示や周辺景観への視線を阻害しない高さとする。 ・遺構の保全及び観覧、維持管理のために必要な高さとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現況の覆屋の高さを超えないことを基本とする。
外観	<ul style="list-style-type: none"> ・遺跡内からの見え方に十分配慮し、立体表示及び周辺植生等との調和を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根は、排水や積雪・落雪を考慮するとともに、設置場所の周辺環境や地形等に配慮した形状とする。 ・原則として大屋根形状とし、小庇等を設置する場合は、大屋根と勾配を合わせる等、複雑な印象とならないよう留意する。 ・窓や空調室外機等の付帯設備は可能な限り主要な観覧動線から見えない位置に配置する。
素材	<ul style="list-style-type: none"> ・耐久性や維持管理を考慮したものとする。 	
色彩 (別紙 1・2 参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・四季を通じて遺跡内の景観と調和する色彩を用いる。 ・色彩の経年変化に配慮する。 ・色彩を組み合わせる場合は、色数や色彩同士の調和に配慮する。 ・『青森市景観計画』及び『青森県景観色彩ガイドプラン』を踏まえ、検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の大部分を占める色（ベースカラー）には褐色を主体とした色を用いる。 ・細部の色彩は、下記の範囲内から選定することとし、設置場所に応じて詳細を検討する。 <p>【使用する色彩の範囲】</p> <p>色相：褐色、緑色</p> <p>明度：中～低明度</p> <p>彩度：中～低彩度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上空から眺望した際の周辺との調和にも留意する。



遺跡内の色彩（6月）



遺跡内の色彩（9月）



遺跡内の色彩（11月）



遺跡内の色彩（2月）